

「再生可能エネルギー主体の地域エネルギーマネジメント」

～産・学・官交流促進シーズ発表会～

九州大学 — 2017年2月3日

エネルギー研究教育機構が開催するエネルギーウィークの一貫として、九州大学学術研究・産学官連携本部及び公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構は、九州大学稲盛記念館（伊都キャンパス）におきまして下記の通り、エネルギーマネジメントに関するシーズ発表会を開催いたします。本発表会では、エネルギーマネジメントは地域エネルギーシステム、経済学や数理学という様々な観点から議論され、再生可能エネルギー主体の地域エネルギーマネジメントシステムに関する九州大学におけるディスカッションプラットフォームを形成するためのイベントです。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】2016年2月3日 10:00-12:30

【場所】九州大学伊都キャンパス稲盛財団記念館 大ホール

【主催】

九州大学 学術研究・産学官連携本部

公益財団法人 九州大学学術研究都市推進機構

【対象】エネルギー分野に関心がある企業、自治体、大学教員等。

【プログラム】

10:00-10:10

開会挨拶 公益財団法人 九州大学学術研究都市推進機構

事務局長 猿渡 稔

学術研究・産学官連携本部 産学官連携推進グループ

グループリーダー 池谷 章

10:10-11:40

講演1：地域におけるエネルギーマネジメント

題目：「エネルギー分散管理と地域経済」

講演者：九州大学 炭素資源国際教育研究センター 原田 達朗 教授

概要：消費者が再生可能エネルギーの利用、そしてエネルギー利用特性の異なる施設が協力することは、自然エネルギーの利用を高めることができる。本発表では、地域経済活性化における Local Energy Management Systems (LEMS)の役割を取り上げる。

講演 2：農産業におけるエネルギーマネジメント

題目：「農山村地域における再生可能エネルギー推進の条件ーバイオマスエネルギー活用と物質循環の視点からー」

講演者：九州大学 農学研究院 矢部 光保 教授

概要：農山村地域には多様な再生可能エネルギー源が存在している。バイオマス資源に注目するとき、間伐材や畜産廃棄物・生ごみ等の有機性廃棄物のリサイクルループを構築し、エネルギー源として活用し、地域振興に役立てている事例がある。

講演 3：数学によるエネルギーマネジメントの効率化

題目：「エネルギーデータの統計解析」

講演者：九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所 廣瀬 慧 准教授

概要：エネルギーデータの統計解析は、電力消費量の予測に使われてきたが、大規模データから電力消費量を適切に予測する新しい統計手法が必要とされている。本講演では、高頻度化・高次元化した大規模データに対してどのような統計的アプローチが有用であるのかを議論する。

講演 4：地域エネルギーマネジメントの事例

題目：「地域新電力と地域エネルギーマネジメント」

講演者：株式会社 NTT ファシリティーズ スマートビジネス本部 副本部長 正代 尊久

概要：地域内にある再生可能エネルギーや蓄電池や照明・空調などの需要家負荷を ICT で繋いで、電力の地産地消を行う地域新電力事業と、地域内の創エネ、蓄エネ、省エネを自律的に制御する地域エネルギーマネジメントサービスの取組み状況とそれを支える技術について紹介する。

11：40ー11：45

閉会挨拶

「九大の取り組み：地域エネルギーマネジメントに関するディスカッションプラットフォーム（QSIG）の形成」
学術研究・産学官連携本部 産学官連携推進グループ
クスターズ ハロルド

【懇親会】（ランチ&ネットワーキング）

11：45ー12：30

場所：稲盛財団記念館 1階のロビー

【参加費及び参加登録】

登録は無料ですが、「貴社名、氏名、役職、ご連絡先」を以下のメールアドレスにご提供ください。

semi0203@opack.jp

【問い合わせ先】

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構
企業立地サポートグループ 担当：和田、酒見
電話：092-805-3677
電子メール：semi0203@opack.jp

九州大学学術研究・産学官連携本部
産学官連携推進グループ 担当：クスターズ・ハロルド
電話：092-832-2130
電子メール：kusters@airimaq.kyushu-u.ac.jp